

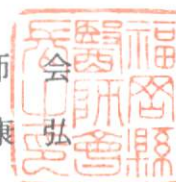
福岡県医発第 2323 号 (地)

平成17年 3月25日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 竹 嶋 康 弘



平成17年度がん診療及び循環器病診療に従事する
医師等の研修について (ご案内)

標記の件につきまして、福岡県保健福祉部より別添実施要領に基づき実施する旨通知がありましたので、貴会会員にご案内いただき直接、福岡県保健福祉部医療指導課医務係へお申込下さいますようお願いいたします。

小郡三井医師会より

担当理事 蒲池 壽





16医指第 2694号

平成17年3月18日

社団法人福岡県医師会長
社団法人福岡県病院協会長
社団法人福岡県私設病院協会長
全国自治体病院協議会福岡県支部長 殿
福岡県対がん協会長
福岡県看護協会長
福岡県臨床衛生検査技師会長
福岡県放射線技師会長

福岡県保健福祉部医療指導課長
(医 務 係)

平成17年度がん診療及び循環器病診療に
従事する医師等の研修について

このことについては、がん対策及び循環器病対策の一環として例年実施されているところですが、平成17年度においても、別添実施要領に基づき実施されますので、お知らせします。

つきましては貴会会員への周知をよろしくお願いいたします。

なお、受講申込にあたっては、下記事項に留意願います。

記

- 1 がん診療に従事する医師等の研修
 - (1) 申込書類 各3部（うち2部は原本）
受講者調書 別添実施要領の別紙様式による



- 添付資料 ① 所属施設長の推薦理由書（施設長印のあるもの）
② 履歴書（写真貼付のこと）
③ 医師の場合は、希望研修課程を選んだ理由

※添付資料はA4版とするが、様式は定められていないので適宜作成のこと。

(2) 受講申込締め切り（県必着）

- 第1回募集分 平成17年 4月 8日（金）
第2回募集分 平成17年 6月17日（金）
第3回募集分 平成17年10月14日（金）

2 循環器病診療に従事する医師等の研修

(1) 申込書類 各3部（うち2部は原本）

受講者調書 別添実施要領の別紙様式による

- 添付資料 ① 所属施設長の推薦理由書（施設長印のあるもの）
② 履歴書（写真貼付のこと）

③ 研修を希望する理由書（研修希望内容等を具体的に）

※添付資料はA4版とするが、様式は定められていないので適宜作成のこと。

(2) 受講申込締め切り（県必着）

- 第1回募集分 平成17年 4月 8日（金）
第2回募集分 平成17年10月14日（金）

3 問い合わせ先及び提出先（1，2とも共通）

〒812-8577 福岡県保健福祉部医療指導課医務係 担当：橋本
（郵便番号を記入すれば、住所記載不要）

TEL：092-643-3273

FAX：092-643-3277

提出にあたっては、締め切り期日を厳守のうえ、連絡先（担当部課、担当者、電話番号等）を記入すること。

医政発第0311008号
平成17年3月11日

各都道府県知事 殿

厚生労働省医政局長



平成17年度がん診療及び循環器病診療
に従事する医師等の研修について

標記については、がん対策及び循環器病対策の一環として実施しているところであるが、平成17年度においても、別添「がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及びがん登録実務者の研修実施要領」及び「循環器病診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及び臨床工学技士の研修実施要領」により実施することとしているので、貴管下関係機関への周知等よろしくお取り計らい願いたい。

なお、研修は予算成立後に実施することを申し添える。

平成17年度 実施概要

1. がん診療に従事する医師等の研修

(1) 研修の職種及び定員（年間）

医 師	48人
看 護 師	35人
診療放射線技師	24人
臨床検査技師	6人
がん登録実務者	40人
計	153人

(2) 研修実施施設

国立がんセンター（中央）及び（東）

(3) 推薦締切期日

第1回募集分	平成17年 4月15日
第2回募集分	平成17年 6月24日
第3回募集分	平成17年10月21日

2. 循環器病診療に従事する医師等の研修

(1) 研修の職種及び定員（年間）

医 師	72人
看 護 師	30人
診療放射線技師	10人
臨床検査技師	12人
臨床工学技士	4人
計	128人

(2) 研修実施施設

国立循環器病センター

(3) 推薦締切期日

第1回募集分	平成17年 4月15日
第2回募集分	平成17年10月21日

3. 平成16年4月1日からの国立病院等の独立行政法人化に伴い、各都道府県内の国立病院機構に勤務する者についても、貴職より推薦くださいますよう、よろしくお願い致します。

がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、
臨床検査技師及びがん登録実務者の研修実施要領

(平成17年度)

厚生労働省医政局

平成17年度がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、
臨床検査技師及びがん登録実務者の研修実施要領

1. 目 的

わが国のがん対策の一環として、がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及びがん登録実務者に対し、高度の専門的知識及び技術を修得させ、専門職員の充実を図ることを目的とする。

2. 対 象 者

(1) 医 師

がん診療に従事する者で、医師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(2) 看 護 師

がん診療に従事する者で、看護師の資格取得後5年以上の実務経験を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(3) 診療放射線技師

がん診療に従事する者で、診療放射線技師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(4) 臨床検査技師

がん診療に従事する者で、臨床検査技師の資格を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(5) がん登録実務者

院内がん登録及び地域がん登録の実務に従事する者で、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

3. 研修定員

職種別研修定員は、次のとおりである。(但し、研修実施施設長が推薦する者を除く)

職 種	期 間	実施回数	1回あたりの定員	定員総数
医 師	3 ヲ月	2 回	2 4 人	4 8 人
看 護 師	3 週間	1 回	3 5 人	3 5 人
診療放射線技師	1 ヲ月 2 週間	1 回	9 人	9 人
		1 回	1 5 人	1 5 人
		2 回	2 4 人	2 4 人
臨床検査技師	3 ヲ月	2 回	3 人	6 人
がん登録実務者	1 週間	2 回	2 0 人	4 0 人
合 計				1 5 3 人

4. 研修実施施設

国立がんセンター（中央） 東京都中央区築地5の1の1 電話 [03] (3542)2511

国立がんセンター（東） 千葉県柏市柏の葉6の5の1 電話 [04] (7133)1111

※研修は主として中央病院で実施するが、一部東病院で行うことがある。

(看護師及び放射線技師については一部の研修を東病院で行う。)

5. 研修実施期間

研修実施期間は、別紙（1）「研修実施計画及び推薦締切期日」による。

6. 研修内容

職種別の研修課程、研修内容は別紙（2）「研修内容」によるが、詳細については受講者の構成等を考慮して実施施設において決定するものとする。

7. 各都道府県及び研修実施施設長の推薦

都道府県及び研修実施施設長は、受講希望者の受講者調書〔別紙様式〕を2部作成し、所属施設長の推薦理由書、履歴書及び医師の場合は希望研修課程を選んだ理由書（その他の職種については、希望研修内容を受講者調書の備考欄に記入すること。）を各2部（原本）添付のうえ、厚生労働省医政局総務課あて推薦すること。

受講者の推薦にあたっては、各都道府県におけるがん診療施設の現状及び将来計画等を勘案し、研修効果が十分に期待できるよう配慮すると共に受講対象者の要件を備えているかどうか審査を行うこと。

また、受講者の推薦の時期は、別紙（1）「研修実施計画及び推薦締切期日」による。

8. 受講者の選定及び通知

各都道府県及び研修実施施設長より推薦された者のうちから、厚生労働省医政局において決定し、都道府県又は研修実施施設長を通じて所属施設長及び受講者に通知する。

9. 経 費

受講料は無料とするが、受講地への旅費、滞在費等は受講者側の負担とする。

10. 宿泊施設

宿泊施設については、研修実施施設において斡旋しないので、受講者において選定すること。

11. その他

（携帯するもの）

【全職種共通】筆記用具、印鑑、保険証

【医師、看護師、診療放射線技師】白衣、フィルムバッジ

【臨床検査技師】12色鉛筆、白無地ノート

受 講 者 調 書

〔 医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、がん登録実務者 〕

(進達都道府県名：)

(研修実施施設名：国立がんセンター)

1 受 講 者 氏 名	(男 ・ 女)		
2 生 年 月 日	昭 和 年 月 日 (満 歳)		
3 所 属 施 設	(1) 施 設 名		
	(2) 所 在 地	〒	
	(3) 連 絡 先	Tel. — — (内線)	
4 従事職務内容	現在の所属部署		
	従 事 職 名		
	具 体 的 な	(希望課程の経験及び関連機器の取扱経験等)	
	職 務 内 容		
5 経験年数 (うち研修希望課程)	臨床 (従事) 経験 年 カ月 (年 カ月)		
6 卒 業	(1) 学 校 名		
	(2) 年 月 日	昭和・平成 年 月 日	
7 免 許	(1) 番 号	第 号	
	(2) 登録年月日	昭和・平成 年 月 日	
8 受 講 希 望	(1) 受 講 施 設		
	(2) 研 修 課 程		
	(3) 受 講 時 期		
9 これまでの当該研修受講の有無	有 無	研 修 施 設	研 修 課 程
10 都道府県の推薦優先順位			
11 都道府県の今回までの推薦回数			
12 添 付 資 料	(1) 所属施設長の推薦理由書 (施設長印のあるもの) (2) 履歴書 (写真貼付のこと) (3) 医師の場合は、希望研修課程を選んだ理由書		
13 備 考			

注 (1) 受講者調書及び添付資料は各 2 部 (原本) 提出のこと。

(2) 該当する職種 [医師、看護師、…、がん登録実務者] に○印を付すこと。

(3) 「10、11」欄については都道府県が記入すること。

(4) 「11 都道府県の今回までの推薦回数」欄については受講申請したが受講決定をみななかった場合、その申請回数等を記入すること。

(5) 研修実施施設長推薦者については「10、11」欄は記入しないこと。

(6) 「12 添付資料」については A 4 版とするが、様式は特に定めないので適宜作成すること。

なお、履歴書の記載内容として取得資格及び研修会等の受講歴も記入すること。

(7) 医師以外の職種については希望する研修内容を「13 備考」欄に記入すること。

(8) 国立がんセンターの受講希望者は履歴書にカラー写真を貼付すること。

また、履歴書の氏名欄にローマ字綴りも併記すること。(名札作成のため)

(例) 鈴木 太郎 T. SUZUKI

別紙(1)

研修実施計画及び推薦締切期日

職 種	期 間	17年 4	5	6	7	8	9	10	11	12	18年 1	2	3	備 考
医 師	3ヵ月						8月29日		11月25日		1月11日		3月31日	
看 護 師	3週間		5月30日	6月17日										
診療放射線技師	1ヵ月							10月4日	11月5日					
	2週間							10月4日	15日					
臨床検査技師	3ヵ月						8月30日		11月25日		1月11日		3月31日	
がん登録実務者	1週間					8月22日	26日				1月23日	27日		
厚生労働省への提出書類 受 付 締 切 日		第1回募集分 平成17年4月15日(金)必着				第2回募集分 平成17年6月24日(金)必着				第3回募集分 平成17年10月21日(金)必着				

別紙（２）

研 修 内 容

Ⅰ 医 師

実 施 施 設	期 間	実 施 時 期	研修人員	備 考
国立がんセンター	（３ヵ月）	〔コース〕 （第１回）平成１７年８月２９日～１１月２５日 （第２回）平成１８年１月１１日～ ３月３１日	２４人 ２４人	

注）それぞれの課程ごとに定員があるので参照すること。

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
国立がんセンター				
1 消化器がん画像診断過程	2	2	画像による消化器がん診断を希望する者	消化器がんをはじめとする諸種消化器がんのX線等診断、特に早期がん発見のための診断技術修得を目的とする。
2 消化器がん内視鏡課程	1	1	内視鏡による消化器がん診断治療を希望する者で経験年数3年以上、35歳未満の者	消化器がんの内視鏡診断とその治療の修得、特に早期消化器がん発見のための診断技術修得を目的とする。
3 病理組織診断過程	2	2	人の腫瘍の病理診断の研修を希望し、病理診断を専門とする者	消化管（胃・大腸等）、肝、胆、膵、頭頸部、呼吸器、乳腺、泌尿生殖器、造血臓器及びその他の臓器に発生する腫瘍の肉眼並びに組織学的診断を修得し、早期発見、早期治療に有益な知見の会得を目的とする。
4 細胞診断過程	1	1	がん細胞を診断、治療に応用する者	各種臓器がんの細胞による診断に必要な知識と能力の修得を目的とする。

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
5 肺がん診断過程	2	2	胸部内科、胸部外科、気管食道科等で胸部診断を希望する者	診断 X線読影、肺、気管支動脈造影、気管支ファイバースコープ、擦過細胞診等の技術修得を目的とする。
6 子宮がん診断課程	1	1	婦人科医師	コルポスコピー、細胞診、組織診の三者を中心として研修を行い、子宮がん診断の向上を目的とする。
7 外科的療法過程			総合病院の一般外科又は専門外科を3年以上修練した外科医師	研修生の希望分野に従い、専門医をカウンターパートとして手術の見学、時として介助、討論会への参加及び病棟におけるベッドサイドの実地研修を行う。
胃 外科コース	1	1		
大腸外科コース	1	1		
食道外科コース	1	1		
肝臓外科コース	1	1		
乳腺外科コース	1	1		
胸部外科コース	1	1		
泌尿器科コース	1	1		
整形外科コース	1	1		
8 放射線療法課程	1	1	放射線治療に関与する医師	放射線治療の実習、特に高エネルギー加速器及び密封小線源による治療技術、加温療法

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
9 薬物療法（化学療法）過程	3	3	造血器腫瘍又は固形腫瘍の薬物療法骨髄移植等の臨床を行っている者	研修生の希望分野（造血器腫瘍、肺がん、消化器がん、乳がん、骨髄移植など）に従い、専門医をカウンターパートとして、薬物療法の臨床の实地研修を行う。
10 頭頸部がん課程	1	1	頭頸部がん診療に従事する者	臨床に即応した討論を行い、当該領域診療の基本と特異性を理解せしめ、診療に参加させて実技の向上を目的とする。
11 小児腫瘍（内科系）課程	1	1	小児がんの臨床を希望する者及び骨髄移植を行う希望のある者	小児がん一般の診療及び治療（特に骨髄移植、無菌室治療等）の技術を修得する。
12 皮膚科腫瘍過程	1	1	皮膚科医師（原則として35歳未満の者）	皮膚がんの診断、手術及び抗がん剤治療等による集学的治療を研修する。
（12課程）	（24）	（24）		

研 修 内 容

Ⅱ 看 護 師

実 施 施 設	期 間	実 施 時 期	研修人員	備 考
国立がんセンター	(3週間)	平成17年5月30日～6月17日	35人	

研 修 課 程	受講対象者の要件	研 修 内 容
国立がんセンター	経験 5 年以上で指導的立場にあり、研修後関連業務に従事する者が望ましい。 年齢 3 5 歳以下とする。	講義 がん診療・研究の現状と将来、がんの疫学、がんの診断と治療、がん看護総論、手術後のリハビリテーション、化学療法を受ける患者の看護、放射線治療を受ける患者の看護、ターミナル・ケア、家族へのケア、疼痛の緩和、インフォームドコンセント 実習 病棟における患者の看護、院内見学 討議 事例を通してがん患者のQOLを考える。

研 修 内 容

Ⅲ 診療放射線技師

実 施 施 設	期 間	実 施 時 期	研修人員	備 考
国立がんセンター	(1ヵ月)	平成17年10月4日～11月5日	9人	内訳 消化管 2人 C T 1人 MRI 1人 R I 2人 治 療 3人
	(2週間)	平成17年10月4日～10月15日	15人	

研 修 課 程	受講対象者の要件	研 修 内 容
国立がんセンター 1 1ヵ月課程（専門課程） (1) 消化管 (2) C T (3) M R I (4) R I (5) 治 療 2 2週間課程（一般課程）	診療放射線技師として、3年以上の実務経験を有し、下記設備のうち1つを有している施設又は設置しようとする施設に勤務している者 (消化管検査装置) (C T検査装置) (M R I検査装置) (R I検査装置) (高エネルギー照射装置) 診療放射線技師として、2年以上の実務経験を有し、高エネルギー放射線治療、胃集検、C T、M R I、R I検査等の設備がある施設又はこれから設備しようとする施設に勤務している者	実習を中心とし、専門技術修得を図る。 消化器検査装置の操作方及び胃撮影技術 C T、M R I検査装置の操作方法及び撮影技術 動態検査、及びシンチカメラの操作 照射技術、測定技術、治療計画、装置の保守 新しい知識及び基本的技術の修得を図る。 次の講義及び技術の修得を行う。 ・放射線管理、放射線治療計画 ・消化管撮影技術、C T撮影技術、放射線照射技術、放射線測定法 ・R I検査、M R I検査、放射線設備等

研 修 内 容

Ⅳ 臨床検査技師

実 施 施 設	期 間	実 施 時 期	研修人員	備 考
国立がんセンター (細胞診課程)	(3ヵ月)	(第1回) 平成17年8月30日～11月25日 (第2回) 平成18年1月11日～ 3月31日	3人 3人	

研 修 課 程	受講対象者の要件	研 修 内 容
国立がんセンター 細胞診課程（3ヵ月）	臨床検査技師免許取得後、3年以上臨床検査に従事し、なおかつ細胞診1年以上、又は病理及び血液検査2年以上の実務に従事している者	特に講義は行わない。実際の標本を見ながら教育する。 (1) 細胞診に必要な固定、染色等の技術を修得させる。 (2) 単位時間内に相当数の細胞診標本を検鏡、スクリーニング出来るようにする。

研 修 内 容

V がん登録実務者

実 施 施 設	期 間	実 施 時 期	研修人員	備 考
国立がんセンター	(1週間)	(夏期) 平成17年8月22日～8月26日 (冬期) 平成18年1月23日～1月27日	20人 20人	

研 修 課 程	受講対象者の要件	研 修 内 容
がん登録実務者課程	次のいずれかの条件を満たし、がん登録の実務を担当する者、もしくはがん登録の管理者で実務内容を把握する必要がある者 1. がん登録または病歴管理の実務経験が1年以上の者 2. 看護師、保健師の資格を持つ者 3. その他所属長が推薦する者	講義内容 がん登録で必要とされる基礎知識と技術の習得を目標とする。 ・がん登録に必要ながんの基礎知識 ・がん登録概論 ・がん登録の標準登録項目 ・国際疾病分類腫瘍学第3版 ・病期分類について：臨床進行度分類、UICC、TNM分類、取扱い規約について（主に主要5部位：胃癌、大腸癌、肝臓癌、肺癌、乳癌） ・コーディング演習（局在コード、形態コード、病期、その他の登録項目） ・がん登録における情報管理・利用について

循環器病診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、
臨床検査技師及び臨床工学技士の研修実施要領

（平成 1 7 年 度）

厚 生 労 働 省 医 政 局

平成17年度循環器病診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、
臨床検査技師及び臨床工学技士の研修実施要領

1. 目 的

わが国の循環器病対策の一環として、循環器病診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及び臨床工学技士に対し、高度の専門的知識及び技術を修得させ、専門職員の技術・知識の向上を図ることを目的とする。

2. 対 象 者

(1) 医 師

循環器病診療に従事する者で、医師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(2) 看 護 師

循環器病診療に従事する者で、看護師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(3) 診療放射線技師

循環器病診療に従事する者で、診療放射線技師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(4) 臨床検査技師

循環器病診療に従事する者で、臨床検査技師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(5) 臨床工学技士

循環器病診療に従事する者で、臨床工学技士の資格取得後2年以上の実務経験を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

3. 定員（但し、研修実施施設長が推薦する者を除く。）

職 種	期 間	定員総数	実施回数	1回当たりの 定 員
(1) 医 師	2週間・3ヵ月	72人	2回	36人
(2) 看 護 師	2週間	30人	2回	15人
(3) 診療放射線 技 師	2週間	10人	2回	5人
(4) 臨床検査 技 師	2週間・1ヵ月	12人	2回	6人
(5) 臨床工学 技 士	2週間	4人	2回	2人

4. 研修実施施設

国立循環病センター 〒565-8565 大阪府吹田市藤白台5丁目7-1
電話 [06] (6833)5012

5. 研修実施期間

研修実施期間は、別紙（1）「研修実施計画」による。ただし、受入状況により変動することがある。

6. 研修内容

職種別の研修課程、研修内容は別紙（2）「研修内容」による。

7. 各都道府県及び研修実施施設長の推薦

都道府県及び研修実施施設長は、受講希望者の受講者調書〔別紙様式〕を2部作成し、所属施設長の推薦理由書、履歴書及び研修を希望する理由書を各2部（原本）添付のうえ、厚生労働省医政局総務課あて推薦すること。

受講者の推薦にあたっては、各都道府県における循環器病診療施設の現状及び将来計画等を勘案し、研修効果が十分に期待できるよう配慮すると共に受講対象者の要件を備えているかどうか審査を行うこと。

8. 推薦の時期

受講者の推薦の時期は、第1回研修については平成17年4月15日まで、第2回研修については平成17年10月21日までとする。

9. 受講者の選定及び通知

各都道府県及び研修実施施設長より推薦された者のうちから、厚生労働省医政局において決定し、都道府県又は研修実施施設長を通じて所属施設長及び受講者に通知する。

10. 経 費

受講料は無料とするが、受講地への旅費、滞在費等は受講者側の負担とする。

11. 宿泊施設

原則として、斡旋しない。（但し、希望者は受講決定後、実施施設へ別途相談すること。）

12. その他

（1）携帯するもの

白衣、筆記用具、印鑑

フィルムバッジ（医師、診療放射線技師のみ）、その他研修実施に必要なもの

（2）研修期間中の受講者に対する一切の責任は、所属施設長が負うものとする。

受 講 者 調 書

医 師
看 護 師
診療放射線技師
臨床検査技師
臨床工学技士

(進達都道府県名：)

(研修実施施設名：国立循環器病センター)

1 受 講 者 氏 名	(男 ・ 女)		
2 生 年 月 日	昭 和 年 月 日 (満 歳)		
3 所 属 施 設	(1) 施 設 名		
	(2) 所 在 地	〒	
	(3) 連 絡 先	Tel. — — (内線) (メールアドレス)	
4 従 事 職 務 内 容	現在の所属部署		
	従 事 職 名		
	具 体 的 な 職 務 内 容	(希望課程の経験及び関連機器の取扱経験等)	
5 経 験 年 数 (うち研修希望課程)	臨床 (従事) 経験 年 カ月 (年 カ月)		
6 卒 業	(1) 学 校 名		
	(2) 年 月 日	昭和・平成 年 月 日	
7 免 許	(1) 番 号	第 号	
	(2) 登 録 年 月 日	昭和・平成 年 月 日	
8 第 一 希 望	(1) 研 修 課 程		
	(2) 受 講 時 期		
9 第 二 希 望	(1) 研 修 課 程		
	(2) 受 講 時 期		
10 第 三 希 望	(1) 研 修 課 程		
	(2) 受 講 時 期		
11 都 道 府 県 の 推 薦 優 先 順 位			
12 添 付 資 料	(1) 所属施設長の推薦理由書 (施設長印のあるもの)		
	(2) 履歴書 (写真貼付のこと)		
	(3) 研修を希望する理由書 (研修希望内容等を具体的に)		

注 (1) 受講者調書及び添付資料は各 2 部 (原本) 提出のこと。
(2) 医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及び臨床工学技士の該当する職種に○印を付すこと。
(3) 「6 従事職務内容」欄の具体的な職務内容は、希望課程の経験及び関連機器の取扱経験等について具体的に記入すること。(欄が不足する場合は研修希望理由書に記入すること)
(4) 「7 経験年数」欄の () 内は研修希望課程の経験年数を記入すること。
(5) 「11 都道府県の推薦優先順位」は都道府県が記入すること。
(6) 「12 添付資料」は A 4 版とするが、様式は特に定めないので適宜作成すること。
なお、履歴書の記載内容として取得資格及び研修会等の受講歴も記入すること。

研修実施計画

職 種	期 間	研 修 課 程	1回当たりの 定 員	平成17年												平成18年		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1	2	3
(1) 医 師	2週間・3ヵ月	1. 心 臓 血 管 内 科	(36) 人 3 (短期2) (長期1)			6月上旬	6月中旬		8月下旬				1月中旬	1月下旬	3月下旬			
		2. 脳 血 管 内 科	3 (短期2) (長期1)															
		3. 高 血 圧 ・ 腎	3 (短期2) (長期1)															
		4. 動 脈 硬 化 ・ 代 謝	3 (短期2) (長期1)															
		5. 小 児 循 環 器 科	3 (短期2) (長期1)															
		6. 心 臓 血 管 外 科	3 (短期2) (長期1)															
		7. 脳 血 管 外 科	3 (短期2) (長期1)															
		8. 麻 酔 科	3 (短期2) (長期1)															
		9. 放 射 線 科	3 (短期2) (長期1)															
		10. 予 防 検 診	3 (短期2) (長期1)															
		11. 周 産 期 科	3 (短期2) (長期1)															
		12. 病 理	3 (短期2) (長期1)															
(2) 看 護 師	2 週 間	1. C C U	(15) 人 3			7月上旬	7月中旬							2月中旬	2月下旬			
		2. I C U	3															
		3. S C U	3															
		4. N C U	3															
		5. 乳 幼 児 病 棟 課 程 (PICU)	3															
(3) 診 療 放 射 線 技 師	2 週 間	診 療 放 射 線	5 人			6月中旬	6月下旬						2月上旬	2月中旬				
(4) 臨 床 検 査 師	2週間・1ヵ月	1. 臨 床 検 査	(6) 人 3 (短期2) (長期1)			6月中旬	6月下旬 7月中旬						2月上旬	2月中旬 2月下旬				
		2. 生 理 機 能 検 査	3 (短期2) (長期1)															
(5) 臨 床 工 学 技 士	2 週 間	臨 床 工 学	2 人			6月中旬	6月下旬						2月上旬	2月中旬				

別紙（２）

研 修 内 容

I 医 師

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
1 心臓血管内科課程 (1) 長期研修コース (期間 3 ヶ月) (2) 短期研修コース (期間 2 週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	心臓血管内科の診療経験を 1 年以上有する者	(1) 長期研修コース 主として病棟において、心臓血管疾患一般の診断及び治療の技術を修得し同時に下記（※）の部分の見学研修を行う。 (2) 短期研修コース 主として下記（※）の部分①～⑤のうち、希望するものを選択し、2 週間の見学研修を行う。 ※ ①心臓カテーテル検査（PTCA、アブレーション） ②心エコー図、心不全、心臓移植 ③CCU（Coronary Care Unit） ④心臓リハビリテーション、呼吸・肺循環 ⑤大血管疾患、末梢血管疾患
2 脳血管内科課程 (1) 長期研修コース (期間 3 ヶ月)	(3) 1	(3) 1	脳血管障害についての診療経験を 1 年以上有する者	(1) 長期研修コース 主としてSCU（Stroke Care Unit、脳卒中集中治療室）において、脳血管障害急性期の診断及び治療技術を修得し同時に下記（※）の補助診断法①～⑤の見

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
(2) 短期研修コース (期間 2 週間)	2	2		学を行う。 (2) 短期研修コース 上記 S C U での診断、治療を研修すると同時に、下記 (※) の補助診断法①～⑤のうち希望するものを選択し、2 週間の見学研修を行う。 ※ ①脳血管撮影 (超選択的血栓溶解療法を含む) ② C T ・ M R I 検査 (D W I を含む) ③脳循環測定 (S P E C T、P E T) ④超音波断層・ドプラー検査 ⑤脳波、脳磁図
3 高血圧・腎 課程	(3)	(3)	高血圧・腎疾患についての診療経験を 1 年以上有する者	(1) 長期研修コース 主として病棟において、高血圧、腎疾患、及び関連する循環器疾患の病態、診断、治療を研修する。希望者には透析療法に関する研修を行う。 (2) 短期研修コース 主として病棟において、高血圧、腎疾患、及び関連する循環器疾患の病態、診断、治療の研修を行う。希望者には透析療法に関する見学研修を行う。
(1) 長期研修コース (期間 3 ヶ月)	1	1		
(2) 短期研修コース (期間 2 週間)	2	2		

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
4 動脈硬化・代謝 課程 (1) 長期研修コース (期間 3 ヶ月) (2) 短期研修コース (期間 2 週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	動脈硬化・代謝についての診療経験を1年以上有する者	(1) 長期研修コース 主として病棟において、糖尿病、高脂血症、肥満、その他動脈硬化・代謝疾患の診断・治療の技術を修得し、同時に下記(※)の研修を行う。 (2) 短期研修コース 主として病棟において、上記疾患の病態把握について研修し、同時に希望に応じて下記(※)の項目の見学研修を行う。 ※ ①インスリン感受性試験 ②非侵襲的動脈硬化診断 ③plasmapheresis による高脂血症の治療法
5 小児循環器科課程 (1) 長期研修コース (期間 3 ヶ月) (2) 短期研修コース (期間 2 週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	小児循環器科の診療経験を1年以上有する者	(1) 長期研修コース 主として病棟において、小児期心疾患の診断及び治療の技術を研修し、同時に下記(※)の補助診断法①～⑤の研修を行う。 (2) 短期研修コース 主として病棟において、小児期心疾患の診断及び治療を研修すると同時に、下記①～⑤のうち希望するものを選択し、2週間の見学研修を行う。

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
6 心臓血管外科課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	心臓血管外科の診療経験を1年以上有する者	※ ①心エコー図 ②心臓カテーテル検査 ③トレッドミル ④R I 検査 ⑤その他 (1) 長期研修コース 下記(※)の①～④の疾患について、手術室と病棟での実際の研修、対外循環の理論と実際、ICUでの術後管理について研修を行う。 (2) 短期研修コース 下記(※)の①～④の疾患について、希望のものを選択し手術室とICUにて2週間の見学研修を行う。 ※ ①小児心疾患 ②弁膜疾患 ③虚血性心疾患 ④血管疾患
7 脳血管外科課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月)	(3) 1	(3) 1	脳血管障害の外科の診療経験を1年以上有する者	(1) 長期研修コース 脳血管障害の診断・外科治療の実際について、手術室・NCU及び病棟にて研修する。

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
(2) 短期研修コース (期間 2 週間)	2	2		研修内容： 画像診断、脳血流測定、直達手術、血管内手術、ガンマナイフ、術後管理 (2) 短期研修コース 上記について見学研修を行う。
8 麻酔科課程	(3)	(3)	麻酔科の診療経験を 1 年以上有する者	(1) 長期研修コース 循環器系疾患を有する患者の術前評価、術中術後管理法救急処置法を研修し、同時下記（※）①～⑥の研修を行う。 (2) 短期研修コース 下記（※）①～⑥のうち希望するものを選択し、2 週間の見学研修を行う。 ※ ①脳、心臓、血管外科手術の麻酔 ②心臓カテーテル、脳血管撮影等検査のための麻酔 ③各種モニター、検査機器の操作法 ④各種レスピレーターの操作法 ⑤病棟における救命処置法 ⑥ I C U での患者管理
(1) 長期研修コース (期間 3 ヶ月)	1	1		
(2) 短期研修コース (期間 2 週間)	2	2		

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
9 放射線科課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	放射線科の診療経験を1年以上有する者	(1) 長期研修コース 主として下記(※)の①～③の検査について研修を行う。 (2) 短期研修コース 下記(※)の①～③の検査について、希望のものを選択し、2週間の見学研修を行う。 ※ ①心臓血管撮影、循環器 I V R ②X線 C T、M R I、3次元画像診断 ③循環器核医学、P E T 診断
10 予防検診課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	集団検診の診療経験を1年以上有する者	(1) 長期研修コース 循環器病予防の検診技術を修得し、疾病予防の管理体系について、下記(※)①～④の研修を行う。 (2) 短期研修コース 下記(※)の①～④について、希望のものを選択し、2週間の見学研修を行う。 ※ ①循環器検診の手技、判定 ②脳卒中、心筋梗塞の危険因子の調査方法、解析方法 ③高血圧、脂質代謝異常の生活指導

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
11 周産期科課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	周産期科の診療経験を1年以上有する者	④循環器疾患予防の方策、体系化 (1) 長期研修コース 下記(※)の①～③について、病棟において研修を行う。 (2) 短期研修コース 下記(※)の①～③について、希望のものを選択し、2週間の見学研修を行う。 ※ ①心疾患妊婦、妊娠中毒症などのハイリスク妊娠の母体・胎児管理法 ②胎児病の診断、体内治療 ③周産期における新しい母体、胎児、新生児監視システム
12 病理課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2		(1) 長期研修コース 主として循環器疾患の病理形態学的研修を行い、同時に下記(※)の診断法①～⑤の研修を行う。 (2) 短期研修コース 主として循環器疾患の病理形態学的研修を行い、同時に下記(※)の診断法①～⑤のうち希望するものを選択し、2週間の見学研修を行う。

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第1回	第2回		
(12課程)	(36)	(36)		※ ①病理解剖学 ②外科病理学 ③細胞診断学 ④特殊染色学 (免疫酵素抗体法も含む) ⑤電子顕微鏡法

Ⅱ 看護師

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第1回	第2回		
1 CCU課程	3	3	循環器疾患看護の経験を2～3年以上有する者	1 CCU（内科系心疾患集中治療室） CCUは内科系心疾患重篤患者を収容している。患者の呼吸、循環、代謝その他生体情報のアセスメントを行い、集中治療管理を研修する。
2 ICU課程	3	3		2 ICU（心臓血管外科集中治療室） ICUは緊急かつ重篤で治療効果の期待できる心臓血管外科系患者を収容している。術後の実際を通じて患者の呼吸、循環、代謝その他生体情報のアセスメントを行い、集中治療管理を研修する。
3 SCU課程	3	3		3 SCU（脳卒中集中治療室） SCUは急性期の脳卒中患者の救命を第一義的な目的として運営されている。患者の呼吸、循環、代謝その他生体情報及び意識障害、片麻痺など神経症状のアセスメントを行い、集中治療管理並びに急性期リハビリテーションの実際を研修する。
4 NCU課程	3	3		4 NCU（脳血管外科集中治療室） NCUは緊急かつ重篤で治療効果の期待できる脳血管外科系患者を収容している。術後の実際を通じて患者の呼吸、循環、代謝その他生体情報のアセスメントを行い、集中治療管理を研修する。

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
5 乳幼児病棟課程 (P I C U)	3	3		5 乳幼児病棟 (P I C U) 乳幼児病棟 (P I C U) は先天性心疾患を有する 新生児・乳児を収容している。出生直後から 1 週間 以内の重症心疾患患児の緊急手術や I C Uからの 術後患児の呼吸、循環、代謝その他生体情報のアセ スメントを行い、集中治療管理を研修する。
(5 課程)	(15)	(15)		

Ⅲ 診療放射線技師

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
診療放射線課程	5	5	血管撮影装置、C T検査装置、MR 検査装置及び核医学検査装置のうち1つ以上の設備を有する施設に勤務する者	下記の放射線検査項目①～④のうち希望のものを選択し、2週間の見学研修と講義を行い放射線検査技術の修得を図る。 複数選択は可能であるが、その際はどの検査項目に重点を置くかを受講者調書、もしくは研修理由書で明確にしておく。 研修項目 ①血管造影検査（心臓、脳、腹部末梢） ②C T検査（心臓、大血管、頭部） ③MR検査（ " ） ④核医学検査（心臓、脳の SPECT 検査及び PET 検査）
（1 課程）	（5）	（5）		

IV 臨床検査技師

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
1 臨床検査課程 (1) 1 ヶ月コース (2) 2 週間コース	(3) 1 2	(3) 1 2	臨床検査の経験を1年以上有する者	下記の臨床検査について、希望のものを選択し、実習を中心に専門技術の修得を図る。 ① 生化学、免疫血清、血液・止血、血中薬物濃度等の即時検査（診察前検査）対応 ② 臓器移植に関する免疫機能検査と感染症検査 ③ 輸血管理室業務 ー安全な輸血を行うための検査管理システムについて ④ 病理検査の一般的技術と解剖介助 ⑤ ISO15189 認定に向けた臨床検査室構築
2 生理機能検査課程 (1) 1 ヶ月コース (2) 2 週間コース	(3) 1 2	(3) 1 2	生理機能検査の経験を1年以上有する者	下記の生理機能検査について、希望のものを選択し、専門技術の修得を図る。 ① 心電図検査（トレッドミルによる負荷試験を含む） ② 心臓超音波検査 ③ 血管超音波検査 ④ 脳波、筋電図検査 ⑤ 末梢循環機能検査 ⑥ 呼吸機能検査
(2 課程)	(6)	(6)		

V 臨床工学技士

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
臨床工学技士課程 (2週間コース)	2	2	臨床工学技士の診療を1年以上経験している者	下記の臨床工学技士業務について、希望のものを選択し、実習を中心に専門技術の修得を図る。 ① 体外循環 ② 補助循環 ③ 補助人工心臓 ④ ME機器管理
(1課程)	(2)	(2)		

研修実施施設案内

(国立循環器病センター)

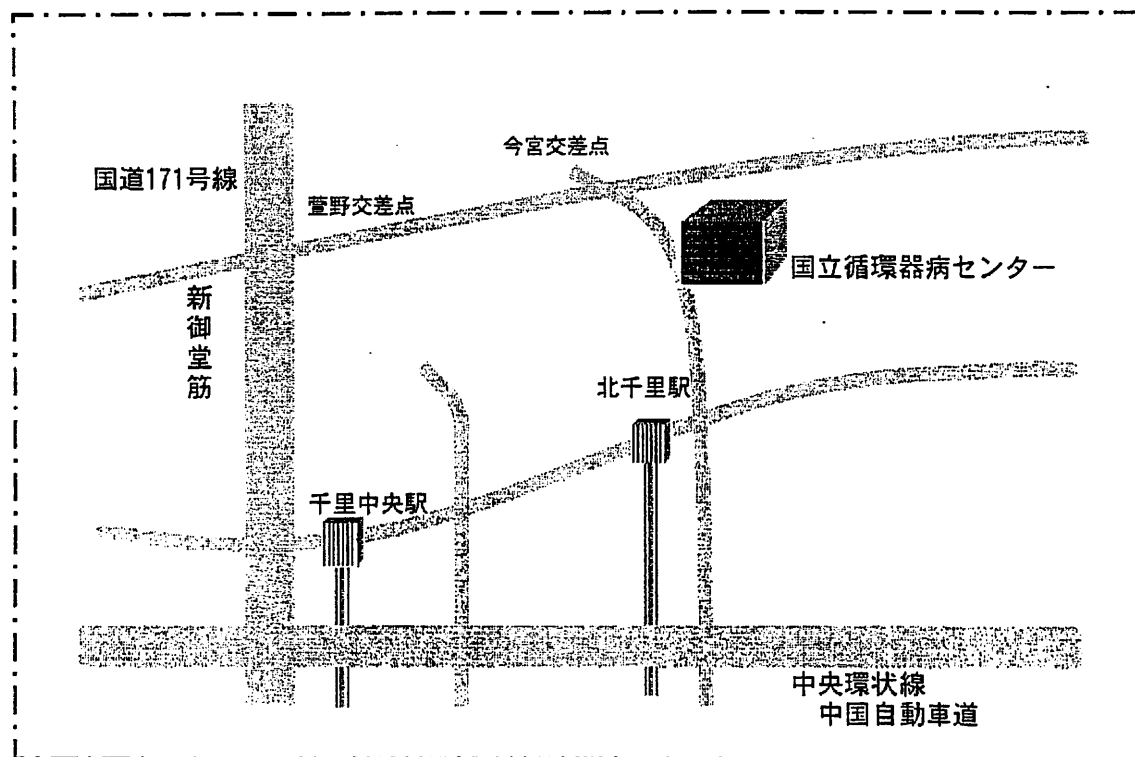
1 所在地及び連絡先

大阪府吹田市藤白台5丁目7-1 (〒565-8565)

国立循環器病センター 運営局政策医療企画課研修係

TEL 大阪 06-6833-5012

2 案内図



(交通)

- 新幹線新大阪駅→地下鉄御堂筋線千里中央駅下車 ○大阪国際(伊丹)空港→モリレール千里中央駅下車
千里中央駅→阪急バス粟生団地行循環器病センター前下車(15分)
- 阪急電鉄梅田駅→千里線北千里駅下車→阪急バス粟生団地行循環器病センター前下車(5分)
- ※タクシー/千里中央駅から10分、北千里駅から3分(徒歩15分)

(参考図書)

メディカ出版	「CCU看護マニュアル」	国立循環器病センター	CCU看護部著
"	「NCU看護マニュアル」	"	NCU看護部著
"	「SCU看護マニュアル」	"	SCU看護部著
"	「ICU看護マニュアル」	"	ICU看護部著
白総研	「標準循環器疾患ケアマニュアル」	国立循環器病センター	看護部
		循環器疾患ケアマニュアル研究会	著